



口腔ケア情報

Brushup Ver.9

『老人臭といわれる 臭いの原因は口臭だった』

口臭はほとんどの場合、自分よりも他人が気付きます。

原因の多くは口の中の細菌が糖を分解するときに発生する揮発性硫化化合物です。歯周病で歯肉の

炎症が進んで出血したり、膿がたまったりするとさらに悪臭を発します。



口臭の原因となる細菌は、普通、歯と歯肉の溝（歯周ポケット）に生息していますが、口腔ケアが不十分であったり唾液の分泌が低下すると舌や上あごにも沢山つくようになります。口から呼吸する人では口の乾燥が進み口臭はさらに強くなります。

臭いのタイプは、生臭い、魚のような臭い、物が腐ったような臭い、すっぱい臭いなど様々です。近くでハア〜と息を吐いてもらった時に臭う程度なら支障はありませんが、ひどくなるとその人の部屋に入っただけでも臭います。

口臭があれば歯周病や虫歯、舌の汚れなどが疑われます。歯や舌をブラッシングし病気を予防すると同時に口臭を抑えましょう。